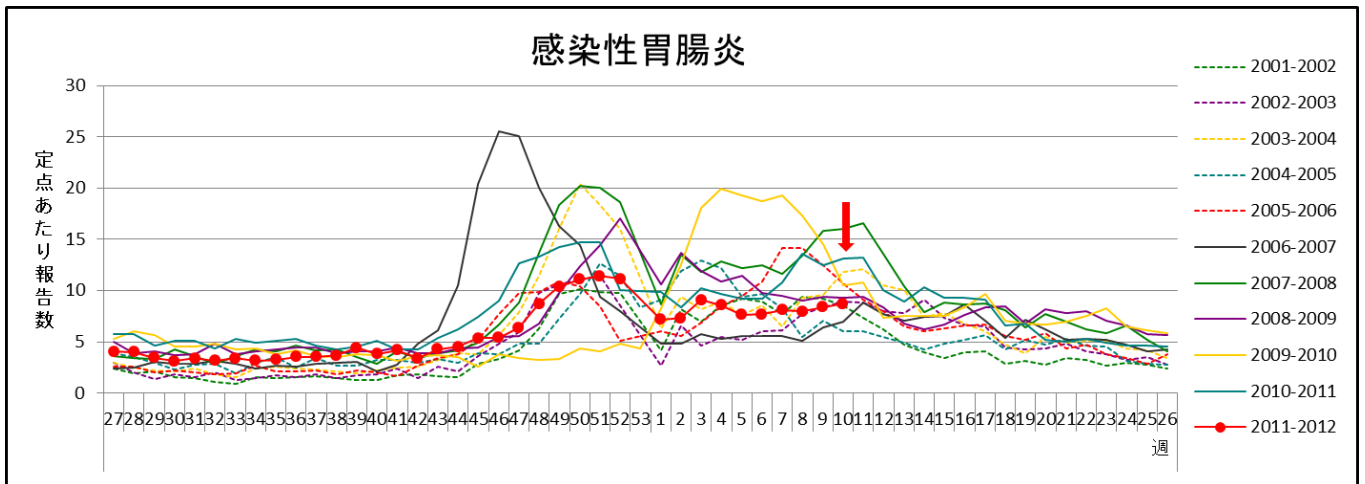


感染性胃腸炎情報 第 10 週 2012 年 3 月 5 日～3 月 11 日

○岡山県内の患者報告数は 470 名（定点あたり 8.70 人）で、前週とほぼ同数でした。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週～今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数でした（54 定点医療機関 定点あたり 8.39 → 8.70 人）。備中地域（4.86 → 9.00 人）、真庭地域（2.50 → 5.00 人）で患者が増加しました。患者の年齢分布は 0-4 歳の低年齢層が約半数を占めています。乳幼児や高齢者は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

例年、これから春にかけて、[ロタウイルスによる感染性胃腸炎](#)が増加します。ロタウイルスは 0-2 歳の乳幼児に患者が多く、ノロウイルスよりも重症度が高いと言われています。手洗いを励行するなど感染予防に努めましょう。

